

製品名: CD218b ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08283**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	IL18RAP IL1R7 Interleukin-18 receptor accessory protein (IL-18 receptor accessory protein;IL-18RAcP;Accessory protein-like;AcPL;CD218 antigen-like family member B;CDw218b;IL-1R accessory protein-like;IL-1RAcPL;Interleukin-1 receptor 7;IL-1R-7;IL-1R7;Interleukin-18 receptor accessory protein-like;Interleukin-18 receptor beta;IL-18R-beta;IL-18Rbeta;CD antigen CD218b)
別名	
遺伝子 ID	8807.0
SwissProt ID	O95256
免疫原	アミノ酸配列範囲 291-340 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

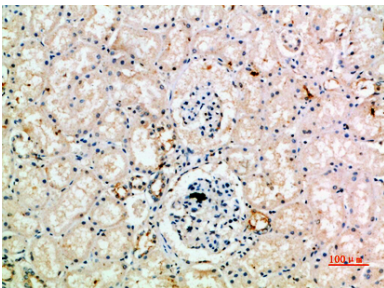
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞性免疫の誘導に関与する炎症性サイトカインであるインターロイキン 18 (IL-18) のヘテロ二量体受容体の補助サブユニットである。このタンパク質は、IL-18 受容体の IL-18 結合活性を増強し、IL-18 によるシグナル伝達において役割を果たす。この遺伝子の変異は、クローン病や炎症性腸疾患、セリアック病やハンセン病への感受性と関連している。この遺伝子の選択的スプライス転写バリエーションが報告されているが、その全長は不明である。[RefSeq 提供、2014 年 2 月]、機能: インターロイキン 18 (IL-18) がその受容体複合体に高親和性に結合するために必要 (類似性による)。IL18R1 とともに、IL-18 依存性の NF- κ B および JNK 活性化を媒介します。誘導: ナチュラルキラー(NK)細胞および T 細胞において、IFN- α および IL-12 によって誘導されます。類似性: インターロイキン-1 受容体ファミリーに属します。類似性: 1 つの TIR ドメインを含みます。類似性: 2 つの Ig 様 C2 型(免疫グロブリン様)ドメインを含みます。サブユニット: IL18R1 とともに、おそらく IL-18 受容体複合体に属します。IL-18 と直接相互作用しないようです。組織特異性: 末梢白血球、脾臓、肺、およびより少ない程度に結腸で強く発現していますが、試験した他の組織では発現していません。IL-12 で極性化した T 細胞で強く発現しています。Th1 細胞において IL18R1 と特異的に共発現する。

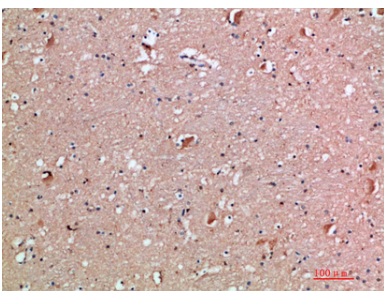
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;

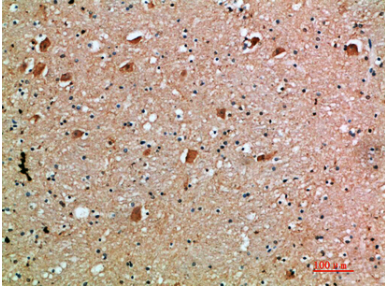
画像データ



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された